1. 目的

N225の本日活性化しそうな銘柄と活性化するお祭り銘柄を検索する。

2. 方法

1)検索条件

株価の急上下変化と歩出来の増減をウォッチする。

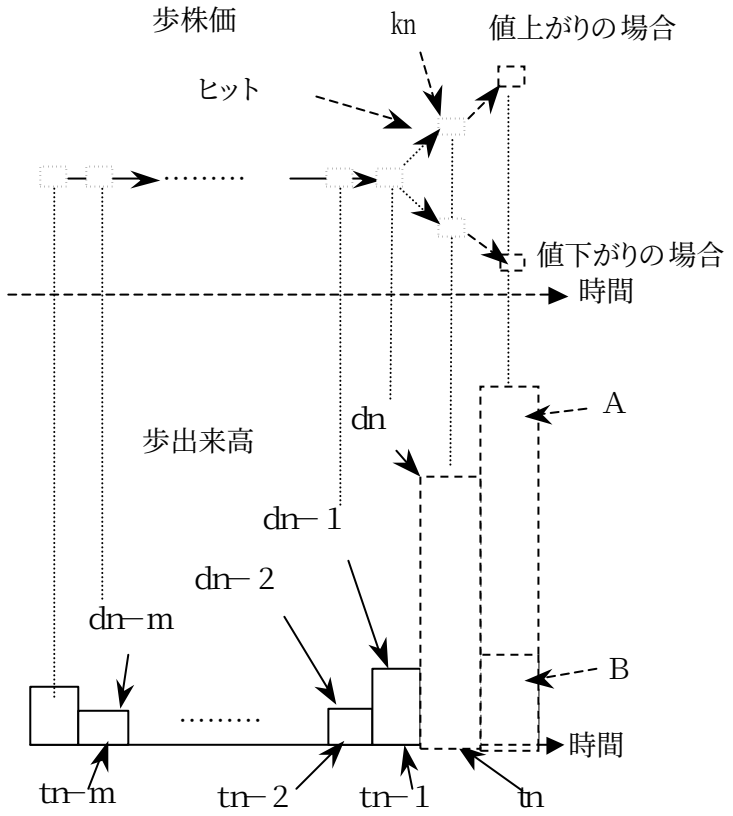
検索の概念と検索判断条件式を下図に示す。

図

出来高異常と株価上下イメージを示す

インターバル間隔（tn－tn-1）における歩出来高｛dn、…、dn-m｝と株価｛kn、kn-1｝を用いて出来高の急増と株価の値上がり／値下がりを見る。

本Myツールでウォッチされたとしても、つぎの瞬間に出来高がBでとまってしまい，Aまで積み上がらないと株価も上昇せず、お祭りにはならない場合も多い。いわゆる検索ゴミになることがある。



歩出来高条件

$$\frac{d_n}{t_n - t_{n-1}} > a \frac{\sum_{i=m}^{n-1} d_i}{t_{n-1} - t_{n-m}}$$

dn ： 歩出来高
tn ： 時間
α ： 係数

（現在の単位時間当りの出来高 ＞ α （過去の単位時間当りの出来高）

値上がりの場合　値下がりは不等号が逆））

$t_n \quad t_{n-1} \qquad t_{n-1} \quad t_{n-m}$

株価

$$\frac{k_n - k_{n-1}}{t_n - t_{n-1}} > b$$

kn ： 株価
β ： 係数

単位時間当りの株価変化値〕 ＞ β
値上がりの場合　値下がりは不等号が逆))

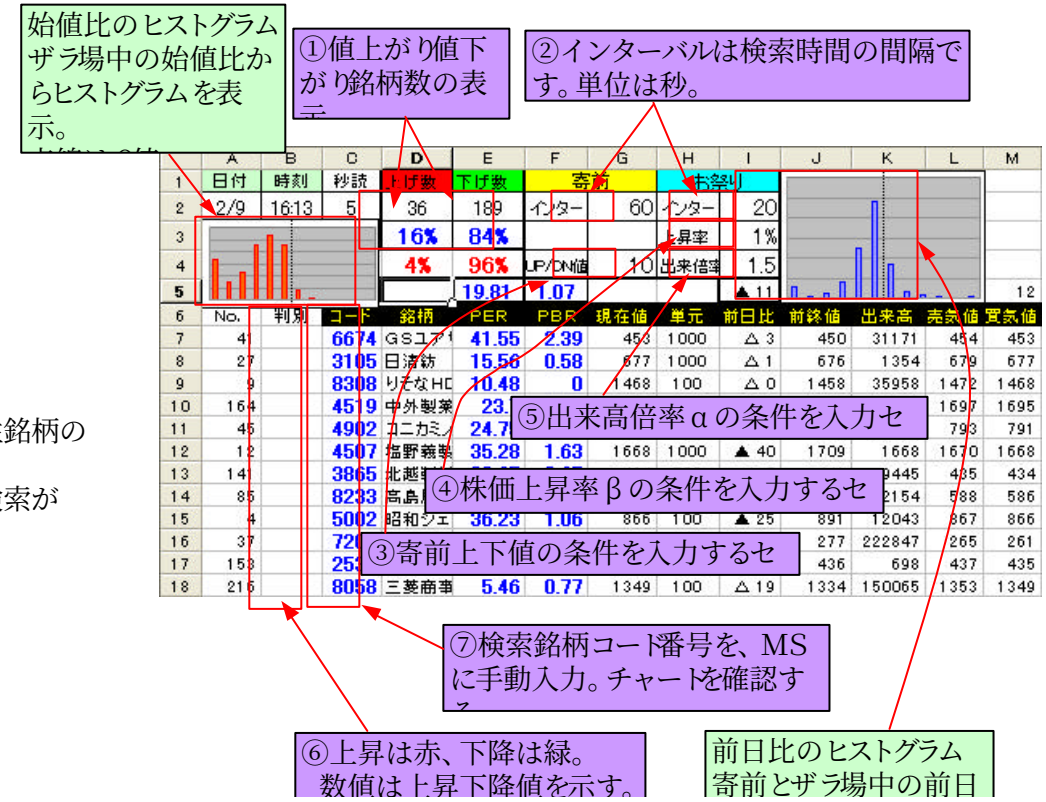
2) ヒストグラム
①前日比のヒストグラム
寄前とザラ場中の前日比を下記の階級で区切って、値上がり／値上がり銘柄数をカウントする。
②始値比のヒストグラム
ザラ場中（前場、後場）の始値比を下記の階級に区切って、値上がり／値上がり銘柄数をカウントする。

前日比	始値比
50以上	24以上
50 ～ 40	24 ～ 19
40 ～ 30	19 ～ 14
30 ～ 20	14 ～ 9
20 ～ 10	9 ～ 5
10 ～ 0	5 ～ 0
0 ～ -10	0 ～ -5
-10 ～ -20	-5 ～ -9
-20 ～ -30	-9 ～ -141
-30 ～ -40	-14 ～ -19
-40 ～ -50	-19 ～ -24
-50以下	-24以下

3. 操作方法
1)起動方法
8：30頃から本Excelブックを起動させると寄前活性銘柄の検索が始まります。
さらに、引き続き9：00から活性化するお祭り銘柄検索が自動的にスタートします。

2)画面の説明
右図に検索画面を示します。
それぞれのセルの意味は①～⑦に説明しています。

3)検索判断条件の変更方法
条件は右図②～⑤のセルに入力します。



② :インターバル入力セル
③ :UP/DN値は前日終値と寄前値の差を入力することで
その差以上で寄付いている銘柄を検索します。
④ :β値は検索したい株価の上昇下降率を入力します。
⑤ :α値は歩出来高の急変化倍率です。
この値以上の該当する銘柄を検索します。

4)検索結果
検索結果は 判別」の欄に
下記の識別で表示します。
赤色 :上昇
緑 :下降
黄色 :上昇の持続
数値は上昇下降値。

5)ヒストグラム
①前日比のヒストグラム
前日比のヒストグラムは値上がり値下がりの銘柄数分布を見ることができ、
その分布から大きく上がるとか下がるとか見極めることができる。
②始値比のヒストグラム
前場、後場の始値比 (=現在値－始値)のヒストグラムはその分布により、
ザラ場中のマクロトレンドを見ることができる。

4. 備考と注意事項
値上がり値下がり欄は1スキャン毎に値上がり値下がり
銘柄の件数と%が表示されます。相場の状態がわかります。
秒読みはスキャンタイミングを表し、「0」になるとスキャン
がスタートします。また、たまに「0」をとばしてスキャンしない
場合があります。
検索したすべての銘柄がお祭り銘柄になるとは限りません。
検索ゴミもたくさん出ます。
株の売買には十分に注意し、自己判断、自己責任でお願いします。

《省力化》
Excelオープン／クローズのスピードアップ、メモリの節約には
本取扱説明書のシートを削除してください。
(オリジナルのファイル (CD－ROM)のExcelファイルの内容を変更してはいけません。)

数値は上昇下降値を示す。
たまに出る黄色はザラ場の 緩やかな上昇継続)

寄前とザラ場中の前日比からヒストグラムを表示。